

# NPO 法人「三郷サンサンハウス」ニュース №.27

東北大震災から2ヶ月ですが、被災者の皆さんには、深い悲しみとご苦労の日々、長い時間だったと思います。悲しみは癒えることなく、復興への苦労はまだまだ続きますが、被災者の皆さん一人ひとりに一日も早く希望の灯がともることを願っています。

三郷サンサンハウスとして、被災者への支援をどうすればよいのか。とりあえず、震災直後「奈良中小企業家同友会」の支援物資搬送トラックに段ボール10個を託しました。その後、理事会でも「三郷町や介護事業所と連帯して、被災地の高齢者たちが一緒に入居できる家を確保し、介護等必要な支援ができないものか」など話し合いました。介護のリーダーで現地の事情にくわしい方におたずねしたところ、「高齢者が知らぬ土地で暮らすことは難しい。現地で、安心して暮らせる居場が必要」とのことでした。遠く離れたところでの思いと現地の思いの違いに行き当りました。

毎日利用者さんに寄り添い、その方の思いを理解し支援することを大切にしている私達ですが、「本当に必要な支援とは」を考える機会になりました。

6月19日の午前総会を開きます。1年に1回みなさんにお会い出来る機会を楽しみにしています。お忙しいでしょうがお出かけいただき、職員の元気な姿を見ていたいと思います。上野 登志子

NPO 法人  
「三郷サンサンハウス」  
三郷町三室2丁目5-22  
Tel/0745-32-3535  
Fax/0745-32-3519  
理事長 上野登志子  
2011.6.1



皆さん今日は。昨年の総会で社外理事に就任しました右成（みぎなり）です。

退職以来、里山保全のボランティアや旅行などスローライフを送っていましたが、身近で親の介護や独居家庭の話を頻繁に聞くようになり高齢化の進展をひしひしと感じていました。

そんな折今回のお話があり、理事長から「住み慣れた町で住み続け…」という理念のもと主婦たちの力でサンサンハウスを立上げ今日に至っているお話を聞き、また、職員たちの姿勢に暖かいものを感じ、介護分野は全くの门外漢ですが引受させていただきました。

月に一度の理事会と若干の行事に参加するだけですが、スタッフの皆さんを利用者のために真心を持って接しておられるのが伝わってきます。制度上の問題があり一事業所の努力だけでは解決できない点が多いのもわかりました。

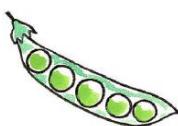
微力ですが設立の理念の実現にむけ皆様と一緒に努力したいと思っています。よろしくお願ひします。

理事 右成 啓三

とうとう念願だった温泉旅行に一泊二日で行ってきました！行き先はかんぽの宿富田林。23名の登録利用者さんの中、18名の参加がありました。4月と5月の二班に分かれて職員もほとんどが参加です。病院の予約はいっぱいあっても楽しみの予定がなかなか入らない利用者さんたちは、その日が来るまでよく話題にされていました。当日は到着早々温泉につかって、宴会では次々出てくるお料理を堪能し、カラオケではみんなの18番を聞かせてもらって夜の9時ごろまで盛り上りました。次ぎの日、朝食のバイキングも気になるけど…おみやげも考えてもっと買いたいし…

そういうしている間にチェックアウト。ホテルのバスで次ぎの目的地、河内長野の花の文化園へ。そこでは珍しい観葉植物をゆっくりと見てまわることができました。お昼を食べてまたまたお土産も買って…楽しい時間はあつという間に終わりました。

職員にとっては、長かったような短かったような…でも、確実にいつもと違う利用者さんを知る事が出来た収穫のある旅行となりました。

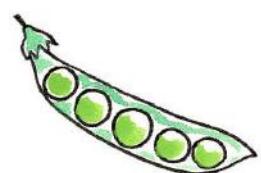


## DSC（認知症の方を支える町づくり）の活動

一昨年の当法人の活動（認知症の方を支える町づくりを目指した講演会活動）の流れを途切れさせないように有志で認知症の事をもっと気軽に話せる場作りを目指して活動を始めています。1月、4月と三室地域で。2月には東信貴ヶ丘ネットワークさんで話をする機会が持てました。

次ぎは6月27日（月曜日）14時から萌の里にある“交流スペースあづまや”にて行う予定です。この活動は事業所の枠を超えてやっています。他の事業所の方はもちろん、地域の一般の方…別に必ずしも発言する必要などありません。ちょっと話を聞いてみようだけでも結構です。誰でも自由に参加できますのでどうぞ仲間に入ってください。毎月、三室自治会の回覧版に萌の里情報を載せていただいており、その中でもこの情報は回して行きますが、個人的に情報をお望みの方は御遠慮なくお申し出ください。

管理者 藤みわこ



# ディサービス あかねの里

☆☎31-3536☆



五月に入ると、新緑を待ちかねて近隣の野山をドライブしました。二上パークでは、芝生に座って、調理の方の心づくしのお弁当をいただき、散策の後には、ソフトクリームを食べて、「オイシイ～」の笑顔がステキでした。



ディサービスあかねの里では、利用される方が、安心して、スタッフと共に楽しく過ごせるようにと、心がけています。

今年は、遅い春でしたが、花冷えのお陰で、長い期間お花見を愉しむことができました。信貴山とっくり湖、奈良産業大、高田川、畠田公園と志都美神社のしだれ桜まで、桜を追いかけてお出かけしました。



明るい山の緑に、「キレーイ」、「エエナア」と癒され、元気を貰って帰りました。

これからも、皆様の笑顔を喜びとしていきたいと思います。 井之上

## 高齢者の家「あかねの里」

☆☎31-3536☆



あかねで夜勤の仕事をさせていただいて、はや2年と6ヶ月を迎えるとしています。今はなき自身の両親の終末介護をすべて妻や姉に頼り何もやって来なかった自分を、神様が少しだけ修行? しなさいと与えてくださった仕事だと思って自分なりに頑張っております。利用者の方々の夜の顔しか知りませんが、技術的には素人同然の自分でも、少しだけ世間を見てきた経験を活かして眠れぬ夜の話相手でもつとめられたらいいな。そして利用者の方々が男女の垣根を越えて何でも頼んでくれる信頼される夜勤者になりたいと思います。 中川 博

義母の介護経験しかない私が、あかねの里で夜勤として働かせて頂いて早いもので2年以上も過ぎようとしています。朝食作りも担当させて頂いていますので、利用者さん6人の方々から、いつもやさしいことばをかけて頂き頭の下がる思いです。大正・昭和・平成と歩んで来られたみなさんとの会話から人生の重みが感じられ、本当に多くのことを学ぶことができます。帰る時には「ありがとう、気を付けて」と思いやりのことば、私も自然に「ありがとうございました。さようなら」と言えるようになりました。介護の仕方やもっと聞き上手になれたらと反省する夜もありまだですがみなさんのお役に立てるように頑張っていきたいと思います。これからもよろしくお願いします。

岡本 恵子

眼に浸みる 心に染みる さみどりの 摆らぎ清けし 楠の花房

(河内長野の花の文化園にて)



夕映えに 若葉の光りて 花かとぞ 見紛うなれり 光はんらん

(あかねの里の2階から)

井上 京子

サンサンサロン

☆☎50-7970☆

サロンの利用者さん達はいつもパワフルです。奈良産業大学での花見では、桜の花の散策をしたり、学生さんと記念写真を撮り、若い人のパワーをもらい楽しい一日を過ごしました。

毎月1回開催している「身体重心リハビリ」では、共同募金の助成により購入した機能訓練器具などを使ってにぎやかに訓練しています。



小物作りでは、ご利用者のMさんの指導でストラップを作りました。又、いたいたたいた着物をほどいてポーチや巾着袋にリメイクしたりして楽しんでいます。

今後は、ボランティアさんの協力を得て、外出の機会も増やしていきたいと思います。

柳 美保

# ヘルパーステーション

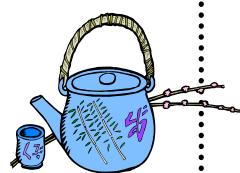
☆☎32-3535☆

先日雑誌に掲載された記事に、脳性まひで手が動かないために母の手を借りて生活をされている方が、「ある日母の入院をきっかけに母以外の人に手を借りることになり、母の手を借りながらも、ほかの人の手も借りて生きていかなくては人生は楽しくならないと感じた。」と書かれていました。ヘルパーステーションが行う介護は、まさにその「手」の部分です。その方が幸せに生きていくためのお手伝いがヘルパーの仕事です。

2012年には介護保険の改定がありますが、より良い介護につながる改定を望みます。

あの日から忘れし笑ひ介護する  
ナースの声のいつも明るく  
原発に今日もわが名を呼んでいる  
テレビは告げる福島ふくしま

短歌



# たすけあい

☆☎32-3535☆



今年度からは利用者、活動者ともに入会金と年会費をなくしました。現在介護保険でできない部分の支援を行っています。ただし、新規ご利用や活動時には今までどおり契約が必要です。子どもさんの幼稚園や小学校に行っている時間やちょっとした時間に有償ボランティアしてみたい方はいらっしゃいませんか？すぐに活動できなくても、是非ご連絡ください。

# サンサン福祉タクシー

☆☎32-3536☆

6月に入り三郷の山々もぐんぐん緑を深めて夏らしい景色となってきました。福祉タクシーご利用者の中には、車での移動時が唯一外の景色を見る機会となっている方もあります。病院へ行かれる道中で、季節の変わりゆく様や最近の出来事などをお話ししながら、少しでも気分が晴れたらと楽しい雰囲気を心がけています。



前回のニュースで紹介したHさんのお母様の事を覚えておられるでしょうか？危篤状態から持ち直されて、病院でお会いした時は人工呼吸器に繋がれておられました。医療関係者は一同に寝たきりになると思っていたようでした。「もう一度自宅で生活させてあげたい！」との家族さんの思いが叶い無事退院されて、今は長女さん宅で穏やかに過ごされています。長女さんに現在のお母様との生活を語って頂きました。

昨年11月に母が緊急入院し、今年1月末に何とか退院できたものの、当事お世話になっていたケアマネージャーさんがご主人の病気治療のため急遽退職され、不安でいっぱいでした。そんな折、幸運にも中川さん（現ケアマネージャーさん）に巡り合え、訪問看護士さん、ヘルパーさんのご依頼、介護用品の準備等、迅速に手配していただき、介護が初めての私に何から何まで教えて下さいました。



お蔭様で母は順調に回復しております。まだ携帯酸素ボンベを持つての行動ですが、少しずつ歩く訓練も出来るようになりました。5月からは今まで通わせていただいていたデイサービスにも参加させていただけるようになりました。とても楽しみにしております。



皆様の温かいご支援をうけて色々と挑戦しようとする母の姿に私も励まされます。母との大切な時間を与えていただいた病院の先生方、ケアマネージャーさん、訪問看護士さん、ヘルパーさんに深く感謝しながら毎日幸せを感じている今日この頃です。今後ともよろしくお願ひ致します。 K・H

居宅ケアマネジャー 中川香代子

## 第9回定例総会のご案内

日 時 : 6月19日（日）午前10時～12時  
場 所 : 東信貴ヶ丘自治会館  
式次第 : 第1部 10時～ （参加者：一般会員・正会員）  
1年間の各事業所の活動報告  
第2部 10時50分～12時 （参加者：正会員）  
総 会

自動車の送迎必要な方は、御遠慮なくお申し出ください。

問い合わせ先 電話（32-3535）山岸・上野